

2. モニタリング

2-1. モニタリングの流れ

(1) サービス提供状況の確認

- 手法は問いません。
- サービス提供時モニタリング加算を算定できる場合があります。

(2) 自宅訪問

- 必ず利用者の居宅等を訪問して、利用者の意向確認、家庭状況の聞き取りなどを行います。

(3) 記録

(4) モニタリング報告書への同意サインをいただく

- 訪問は必須ではなく、メールや郵便によるやり取りも可能。

(5) 区役所・支所へ写しを提出

(6) 請求

○モニタリング報告書（自由記述方式）

様式3-1

モニタリング報告書(継続サービス利用支援・継続障害児支援利用援助)(Ver.3)

利用者氏名(児童氏名)		障害支援区分		相談支援事業所名	
障害福祉サービス受給者証番号		利用者負担上限額		計画作成担当者	
通所受給者証番号		モニタリング実施日		利用者同意欄(署名又は押印)	
計画作成日					

総合的な援助の方針		全体の状況	

優先順位	支援目標	達成 時期	サービス提供状況 (事業実施上の留意事項)	本人(家族)の満足・ 満足度	支援目標の達成度 (ニーズの充足度)	今後の課題・ 解決方法	計画変更の必要性			その他留意事項
							サービス 内容の変更	サービス 量の変更	提供手段の 変更	
1							有・無	有・無	有・無	
2							有・無	有・無	有・無	
3							有・無	有・無	有・無	
4							有・無	有・無	有・無	
5							有・無	有・無	有・無	
6							有・無	有・無	有・無	

○モニタリング報告書（チェック方式）

様式3-1

モニタリング報告書(継続サービス利用支援・継続障害児支援利用援助)(Ver.3)

利用者氏名(児童氏名)		障害支援区分		相談支援事業所名	
障害福祉サービス受給者証番号		利用者負担上限額		計画作成担当者	
通所受給者証番号		モニタリング実施日		利用者同意欄(署名又は押印)	
計画作成日					

総合的な援助の方針		全体の状況	
		<input type="checkbox"/> 本人の心身健康面 ※ 変化内容(記入欄) <input type="checkbox"/> 認知 <input type="checkbox"/> 社会性 <input type="checkbox"/> 生活リズム <input type="checkbox"/> 本人の経済面 ※ 変化内容(記入欄) <input type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 生活リズム <input type="checkbox"/> 生活リズム 特記事項	

優先順位	支援目標	達成 時期	サービス提供状況 (事業実施上の留意事項)	本人(家族)の満足・ 満足度	支援目標の達成度 (ニーズの充足度)	今後の課題・ 解決方法	計画変更の必要性			その他留意事項
							サービス 内容の変更	サービス 量の変更	提供手段の 変更	
1			<input type="checkbox"/> 継続している <input type="checkbox"/> 継続しているが変更が必要 <input type="checkbox"/> 継続しているが中止が必要 ※ 理由(記入欄)	<input type="checkbox"/> 満足 <input type="checkbox"/> 部分満足 <input type="checkbox"/> やや不満 ※ 理由(記入欄) <input type="checkbox"/> 不満 ※ 理由(記入欄)	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 部分達成 <input type="checkbox"/> 未達成 ※ 理由(記入欄)	<input type="checkbox"/> 計画通り <input type="checkbox"/> 計画の変更が必要(記入欄)	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
2			<input type="checkbox"/> 継続している <input type="checkbox"/> 継続しているが変更が必要 <input type="checkbox"/> 継続しているが中止が必要 ※ 理由(記入欄)	<input type="checkbox"/> 満足 <input type="checkbox"/> 部分満足 <input type="checkbox"/> やや不満 ※ 理由(記入欄) <input type="checkbox"/> 不満 ※ 理由(記入欄)	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 部分達成 <input type="checkbox"/> 未達成 ※ 理由(記入欄)	<input type="checkbox"/> 計画通り <input type="checkbox"/> 計画の変更が必要(記入欄)	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
3			<input type="checkbox"/> 継続している <input type="checkbox"/> 継続しているが変更が必要 <input type="checkbox"/> 継続しているが中止が必要 ※ 理由(記入欄)	<input type="checkbox"/> 満足 <input type="checkbox"/> 部分満足 <input type="checkbox"/> やや不満 ※ 理由(記入欄) <input type="checkbox"/> 不満 ※ 理由(記入欄)	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 部分達成 <input type="checkbox"/> 未達成 ※ 理由(記入欄)	<input type="checkbox"/> 計画通り <input type="checkbox"/> 計画の変更が必要(記入欄)	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	

※行が必要場合は、追加してください。

2-2.基本的な視点

- 一度作成したサービス等利用計画の通りに生活が継続されているか生活の変化を見守り、サービス等利用計画の実施状況の把握や利用者についての継続的な評価などを行うのがモニタリングです。
- モニタリングの際は、サービス等利用計画に基づく支援によって当事者の生活が安定しているか、関係機関等はサービス等利用計画で確認された支援の方向性に沿ってサービス等を提供しているか、生活の中でのアクシデントに柔軟に迅速に対応できているか、支援によって当事者の生活スキルの向上が見られているか等を確認します。
- 相談支援専門員は必要に応じて当事者の生活の場を訪問したり、当事者の生活の変化をキャッチしやすい関係機関等に協力を依頼したりして、見守り体制を構築することが重要です。
- サービス等利用計画の見直し等が必要になった場合、必要に応じて迅速にサービス担当者会議を開催し、利用者や関係機関等と今後の対応を検討し、切れ目のない支援体制を維持することが求められます。

○虐待防止の視点

- 利用者の生活において、「不適切な支援」や「虐待（疑い）」が潜んでいる場合があります。もしも「不適切な支援」や「虐待（疑い）」に気づいた場合には、速やかに通報・届出窓口へ連絡します。

表 4 川崎市における障害者虐待の通報・届出窓口

虐待者		通報・届出窓口	
養護者による障害者虐待		各区役所・支所障害者支援担当部署 (支所は精神障害を除く)	専用ダイヤル ・ファクス (24 時間 365 日対応) 電話：044－200－0193 ファクス：044－200－3610
障害者福祉施設従事者による障害者虐待	障害者支援施設、障害福祉サービス事業、一般相談支援事業及び特定相談支援事業、障害児通所支援事業、障害児相談支援事業	健康福祉局障害保健福祉部障害計画課	
	地域活動支援センターを運営する事業（B・C・D 型）、福祉ホームを運営する事業、移動支援事業	健康福祉局障害保健福祉部障害福祉課	
	地域活動支援センターを運営する事業（A 型）	健康福祉局障害保健福祉部精神保健課	
使用者による障害者虐待		健康福祉局障害保健福祉部障害計画課	

※詳しくは「川崎市障害者虐待対応マニュアル」を参照。

http://www.city.kawasaki.jp/350/cmsfiles/contents/0000039/39876/h29_manual.pdf

○期間更新のみでサービス変更の必要がない場合

- これまでのサービス等利用計画を踏まえてモニタリングを行い、サービス変更が無い場合でも、サービス等利用計画のバージョンアップを検討しましょう。現サービス等利用計画の中で達成できなかった事柄や、目標を設定した事で出て来た課題等をアセスメントして、新たなサービス等利用計画を立案します。
- サービスを更新するための計画作成では、それまでのサービス提供が利用者の生活にどのように効果があり、どのように変化したかについての評価を行い、その上でサービスの種類や量を変更する必要がないことを記載します。
- 現サービス等利用計画で達成出来た事、本人の持っている力の新たな発見、相談を通して抽出された課題や、希望、展望も盛り込むと良いでしょう。

○サービス種類や量の変更が必要な場合

- 利用者の生活状況等を把握し、面接等を踏まえて、必要な対応を検討してから区役所・支所へ連絡・相談します。サービス等利用計画を見直す場合には、作成月日についても確認します。サービス等利用計画と週間計画の両方に対応結果を反映させます。
- サービス種類や量の変更を検討する場合には、事前に区役所・支所へ相談し、利用者がサービスを実際にどの程度使い切っているのか確認した方がよいでしょう。
- 利用者本人の入院や退院、家族による介護状況の大きな変化があった場合等本来のモニタリング月でない月にサービス等利用計画を変更した場合、サービス利用支援費を請求できます（継続サービス利用支援費は本来のモニタリング月以外に請求できません）。

2-3.モニタリングの実施月

○モニタリングを予定月に実施できなかった場合

- 原則として受給者証の記載に基づき行いますが、利用者の不在等によりやむを得ず、予定月の翌月にモニタリングを実施した場合は、報酬を算定できます（予定月の前月や翌々月は不可）。
- 予定月の翌月にモニタリングを実施した場合、区役所・支所の担当職員に一報を入れた上でモニタリング報告書の中で計画相談支援を記載している項目の「その他留意事項」欄等に理由を記載するとよいでしょう。

ちょっとひと息コラム

◎相談支援に「つながりにくい」人とは？

具体的には、困っていても自らＳＯＳを出せない人、高齢の親と障害者の世帯や一人暮らしで健康面に不安を抱え自宅にこもりがちな人、家族や近隣住民が支援の必要性を感じているが利用者に困り感が少ない人等です。

このような人の相談を受けた場合は、区役所・支所、障害者相談支援センターに相談しましょう。

◎長期目標・短期目標の考え方

利用者の希望と現実の間にズレが大きい場合には、利用者といっしょに話し合いながら、時間軸で「いつまでに・誰が・何をするか」、という視点で考えていくと、計画を立てやすいでしょう。

目標ややりたいことが「自立したい」など漠然としている方には、「自立してどんな風になりたいのですか」「自立したいと思った理由は何ですか」など、目標を具体化するためのアプローチをすると良いでしょう。

また、ご利用者のストレングスに着目した目標を利用者といっしょに考えることも重要です。できないことをできるようにするという課題解決型の目標より、「将来の夢を実現するために今こうしよう！」という目標だと、やる気が出ますね。